

進路だより 第5号



令和5年（2023年）
10月20日発行
球磨支援学校 進路指導部

高等部卒業後の生活を見据えて大切にしたいこと①

小学部から高等部卒業までの12年間は長いようで、あっという間です。PTA進路・研修部「すまいるサロン」に参加された保護者の方から「家庭で子供にどんな力を付けてあげればよいか」といった質問を受けることがあります。今回は「高等部卒業後の生活を見据えて大切にしたいこと」について掲載します。子供さんによって今の時点で、身に付けてほしい力は様々です。すべて、現時点で行うことではありません。高等部卒業後の幸せを願いつつ、学校と家庭、学園で連携しながら、一步一步、子供たちのそれぞれの歩みをサポートしていけたらと思います。

①身辺自立

- ◆ 学校生活に慣れ、一日の生活に見通しをもてるようにしましょう。
- ◆ 就活する上での遅刻・欠席のマイナス面を知り登校状況を整えましょう。



②時間の管理

- ◆ 早寝早起きをはじめとする規則正しい生活を送りましょう。
- ◆ 時計やタイマーを利用し時間を意識した行動が取れるようにしましょう。
- ◆ 生活を自分で管理できるようスケジュールやカレンダーの活用をしましょう。

③挨拶

- ◆ 場に応じた「あいさつ」「言葉遣い」を教えましょう。
- ◆ 大人としての言葉遣い・所作・立ち居振る舞いも意識して教えましょう。



④金銭管理

- ◆ 家事とお小遣い（報酬）の関連付けをしましょう。
- ◆ 金銭管理の方法を具体的に教えましょう。



⑤役割

- ◆ 自分のことは自分でする場面を設定してみましょう。
- ◆ できることや得意なことを取り入れた活動を設定し、成就感や自己肯定感、意欲を育みましょう。
- ◆ 「お手伝い」から「家事」へ発展させ、責任感も教えましょう。
- ◆ 「できること」から「任せられること」の観点で子供さんの行動を確認し、「任せられること」は家事として担わせましょう。

⑥その他

- ◆ 将来の生活を見据えて、自発的な身体の動きや弛め方、基本的な生活習慣、文字や数の理解、選択や意思表示、ICTの活用など、自立に必要な力を生活全般で発揮できるようにしましょう。
- ◆ ストレス発散の方法を決めておきましょう。